

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

▶ 9期生が入学しました

コロナ禍で様々な規制が続く中、例年よりも約1ヶ月遅れて新入生が入学しました。看護学部の学生と保護者を対象とした日本コース父兄説明会も今年は初のオンライン開催となりましたが、100組以上の参加があり、関心度の高さが窺えました。また、大学からも学長代理をはじめ、学内党委員会や国際関連部、教育訓練部、その他教職員などの出席があり、オンラインながら非常に盛況のうちに終了となりました。

日本コースについての質問も出されました。「日本では、長期間続けて働くことができるのか」、「途中で英語クラスに移れるのか」、「JLPTに合格できないときはどうなるのか」、「全部で何年間勉強するのか」などです。日本コースへの参加は、その後の人生を大きく左右する決断とも言えます。そのことを自覚し、しっかり疑問を解消して自分の将来を考えようという学生たちの気持ちが伝わる説明会でした。

説明会から数日後、日本コースへの参加を申し込んだ学生たちの面接を行いました。2つのグループにわかれて同時進行で行われた面接では、1人につき5〜7分程度で志望動機や自己PRなどの確認がされました。非常に明るく素直な学生が多い印象でした。

▶ 9期生の体験授業をおこなっています

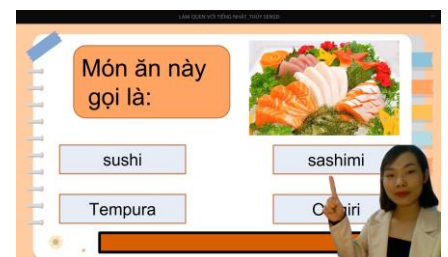
面接を終えた学生全員に対し、現在、日本語クラスの体験授業を行っています。体験授業は2日間にわたり行われ、その後に学生それぞれが本申込をするかどうか決めることとなります。

ベトナムでは、近年、アニメ・漫画などの日本文化や日本語学習が大きな広がりを見せています。しかし、体験授業で初めて日本語に触れる学生も少なくありません。ひらがな、カタカナ、そして膨大な数の漢字の文字学習は、多くのベトナムの学生にとって未知の世界です。体験授業では最初の壁とも言えるひらがなの学習を行い、その後の日本語学習に進むかどうか判断する機会を提供しています。

体験授業ではまず全員の自己紹介、そして日本語・日本文化についての紹介があります。日本文化のひとつとして日本の歌が紹介されました。例年、日本の歌を好む学生が多く、学習が進んだ中〜上級者ではギターを弾きながら日本のポップスを上手に歌い上げる学生もいるほどです。

その後、基本的な挨拶について学び、ひらがなの学習に進みます。ひらがなの学習も歌やゲーム・クイズなどを盛り込み、楽しく学べる工夫がされています。どの学生も楽しみながら、そして真剣に、授業に取り組んでいました。

11月からはよいよ日本コースが本開講されます。日本の看護師免許の取得までは大変長い道のりですが、一人でも多くの学生が目標を忘れずに取り組み、夢を叶えてくれることを祈っています。



【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

(担当：中馬・福田)

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0322

Web/http://vietnam-nurse.com/